

令和5年度飯山市子ども・子育て会議次第 顛末

日時：令和6年1月18日(木) 午後1時30分～

場所：飯山市役所 4階 第1・2委員会室

進行 5まで及び6以降：湯本部長、5：久保田会長

1 開 会 湯本教育部長

2 委嘱状交付 市長より交付

3 あいさつ 市長 みなさんこんにちは。子育てへの支援については、飯山市にとって大変重要な課題と捉えて取組んでいきたいと考えております。

子育て施策については、「子ども・子育て支援事業計画」が策定されております。この計画は、子育て世代の子ども・子育て支援に関するニーズを踏まえ、次世代を担う子どもたちの育成と、安心して子ども生み育てる環境づくりの推進を目指しており、令和2年から令和6年までの5カ年間の第2期として取り組んでいるところです。令和7年からむこう5年間は第3期となり、教育・保育の量の拡充や質のさらなる向上をめざし、子ども・子育てに関するご意見をみなさまから頂戴したい。

市で行っている事業ですが、市内の保育園については、国では「幼児教育・保育の無償化」により、3歳児以上児の保育料は無料となりましたが、3歳未満児は所得に応じた保育料がかかります。飯山市では、保護者の経済的負担を軽減し、安心して子どもを産み育てる環境づくりを推進するため、保護者にお子さんが3人以上いる場合、その3人目以降の子どもにかかる保育料を減免しています。その他に、国では「おかず」、「おやつ」などの副食費を含む給食費は、無償化の対象外としているところですが、飯山市では3歳以上児の子どもたちについて、「おかず」「おやつ」の副食費の無償化を実施しているところです。本年4月からは3歳未満児の給食費の無償化、また使用済みのおむつの持ち帰りを廃止しているところです。

また、子育て支援の拠点として、飯山市子ども館「きらら」において、総合的な子育て支援を実施し、加えて子育てに関する各種情報提供や様々な相談や関係機関との調整を行う総合的な相談機能として飯山市子ども家庭総合支援拠点を設置し、保護者の育児の不安や悩みを軽減する支援を行っているところです。

本日は、飯山市の子育て支援事業の現状をご説明させていただき、第3期子育て支援事業計画につながるニーズ調査内容について、みなさま方からご意見を賜るなかで、これからの飯山市の子ども子育ての支援事業を進めて進めて参りたいと存じます。

この会議は、飯山市の子どもを育てていく上で、ご提言をいただく重要な会議でございます。日頃いろいろ感じていることなどご提言いただければと思いますので、活発な議論をお願いしたい。

阿部県知事の発言を紹介したい。長野県の総人口がこの1月ないし2月で200万人割ること確実。県外への人口流出で20代女性の流出が多い。またWYCということ

伝えている。Wはウーマン、Yヤングマン、Cはチャイルド政策の軸を踏まえて県政に取り組んでいきたい。共感した。飯山市での出生数が昨年 59 人。原因はまだ確かなこと申しあげられないが、長野県とほぼ同じ事情。飯山市のみなのか、他の市町村はどうか。広い視野で分析し、対策を練り直ししなければならない。人口総数の減少率 3%。減少していく中でも活力ある地域をどうつくるか。全力をつくしていきたい。みなさんの率直な質問や意見をお聞きしたい。

久保田会長 皆さんこんにちは。本日は、お忙しいところご出席賜りまして誠にありがとうございます。子ども子育て会議は、子ども・子育て施策の全般について審議をいただく機関と聞いております。地域で子育てする環境を、どのように良い環境を作っていくのか、それから、誇りをもって子どもたちがこの飯山で育ったことが良かったなと思えるような環境づくりが大事だと思います。本日は、この子ども子育て会議で、様々な子育てに関する皆さまからの忌憚のないご意見をお聞かせ頂ければと思います。

4 自己紹介 各自自己紹介

5 議 題 別紙会議録のとおり

(1) 「飯山市子ども・子育て支援事業計画」について・・・資料NO1

(2) 飯山市の子育て支援事業の現状について

(3) 第三期飯山市子ども・子育て支援事業計画について

・予定スケジュールについて

・ニーズ調査について

(4) 子ども子育てに関するご意見等について

6 その他

7 閉 会